

議題				
第5回 中富良野町景観計画策定委員会				
開催日時	令和4年10月11日(火) 午後6時00分～午後8時00分	開催場所	中富良野町役場 第1・2会議室	
出席者	策定委員	大矢、細川、内田、長谷川、本間、荒木、畠尾、菅、遠國		
	役場	事務局(企画課)		
	KITABA	窪田、百瀬、松浦、高橋	作成者	KITABA:松浦

議事内容

1	<p>自由意見・質問</p> <p>① 町民意見の反映について</p> <ul style="list-style-type: none"> 町民アンケートやワークショップ、フィールドワークなど、事務局の進め方や情報の抽出方法に問題がある。町民の意見が計画に反映されていないように感じるため、わかりやすく資料を訂正するよう求める。(委員) →中富良野町の景観の在るべき姿はこれまでの取組で、皆様のご意見を大切にしながら検討してきたが、そのプロセスが見えづらかったためまとめの筋道が見えるよう、整理し皆様にご相談の上、修正する。(事務局) <p>② 景観まちづくりの課題に対する解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> 景観まちづくりの課題に対する解決策を考えないと、計画は成り立たないのではないか。農業委員会や商店街等と対話の機会が作れるか、景観協議会でどこまで権限を持って話ができるか。(委員) →景観計画は町として大事な景観について共通認識を示すものである。景観計画では建物や工作物のことがメインとなるが、他分野に関する配慮事項やお願いベースのことは書けるため、関係する機関や部署が見える形で整理することでより実効性が持たせることができるため、次回、6章の景観まちづくりの進め方の部分で整理する。(事務局) <p>③ 景観を良くするための意識醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者は仕事に影響があるかもしれないが、農業従事者や町民の中でも、もっと町の景観が良くなるのであれば協力しようとする方もいるのではないかと。(委員) 今から数年で景観に対する意識醸成するのは難しいため、住民に対し「20年後30年後を意識して景観づくりに協力してほしい」という文言は計画内で必要になる。(委員) 農家のひまわりの緑肥など、年数かかっても柔らかくじんわりと浸透する取組が、中富良野町民には合っている。(委員) 意識づけるためにも、景観に配慮するという書き方より、もっとしっかりと規制の内容を書いても良い。(委員) <p>④ 北星山地区</p> <ul style="list-style-type: none"> 北星山からの景観は素晴らしく、閑静な環境を維持するためには具体的に推奨するルールを設けても良いのではないかと。(委員) <p>⑤ 景観重要建造物・公共施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> 無電柱化や施設誘致の要望などについては、計画内に書き込めるのか。(委員) →景観重要公共施設に道路を設定することにより、無電柱化について書き込むことが可能。(事務局) 景観重要公共施設に花人街道などが考えられる。沿線自治体と花人街道全体のレベルをアップができるような取組やアイデアを、景観協議会同士で話し合って実現できると良い。
---	---

次回「第6回 中富良野町景観計画策定委員会」について

開催日時等は別途連絡

以上